

オール沖縄・日本共産党衆議院議員 沖縄1区選出

あかみね政賢 国会だより

月刊 No.6

【九州沖縄ブロック事務所沖縄分室】
〒900-0016 那覇市前島3-1-17
電話.098-862-7521 FAX.098-862-7735

【国会事務所】〒100-8981 千代田区永田町2-2-1
衆議院第一議員会館1107号室
電話.03-3508-7196 FAX.03-3508-3626

デニー知事とともに 新基地反対の揺るがぬ決意を



「知事を支えよう」と声をあげる参加者

が集まりました。玉城デニー知事が新基地の設計変更を期限内に承認しないと表明してから最初の土曜日となったこの日。参加者からは知事を支える決意表明が相次ぎました。

辺野古新基地建設に反対する県民大行動が7日、米軍キャンプ・シユワブゲート前で行われ、約900名の県民

行政法学者の徳田博人琉球大学教授は「今回の代執行は法理論的におかしい。デニー知事は筋を通して私たちの信託を全うしている。今日これだけの人が結集したということ、これほど心強い

ことはない」と述べ、研究者としても知事を支えていくと決意を示しました。
集会では、与党県議団や自治体議員有志の会などがそれぞれ決意表明。うりずんの会を代表し挨拶したあかみね政賢議員は、「デニー知事は不当判決や様々な圧力をはね返し、設計変更申請を承認しなかった。県民の尊厳を守った勇氣ある行動だ。闘いはこれからも続いていく。政府にとって何よりも恐ろしいのは県民が団結することだ。新基地反対の揺るがぬ決意を示そう」と呼びかけました。

沖縄人民党の日本共産党への合流 50年にあたって

衆議院議員 赤嶺 政賢

947年7月9日に創立された。日本共産党が公然と活動できなかった時期、人民党は綱領にこそ書かれていないが、実際に科学的社会主義の精神にそって闘ってきた。合流直後に迎えた日本共産党第

1973年10月31日は、沖縄人民党が日本共産党への組織的合流を決定し、沖縄県委員会を確立した歴史的な日だ。今年は合流50年を迎える。沖縄人民党は1

直後に迎えた日本共産党第

性を増している。



孫は、学校のできごとをなかなか話してくれない。友人関係、授業のことなど根掘り葉掘り聞いてみるが、全く反応しない▼ただ、「学校で一番楽しいのは？」と聞いてみたら、「休み時間と給食」とつぶやく。そうだ。そのとおりなのだ。そこに気が付かないのはうかつだった▼孫の通う小学校は自校方式の調理場をそなえている。栄養のバランスのとれたメニューが工夫され、温かい給食が提供されている▼学校給食は授業の一環だ。学校給食の自校方式の拡大、給食費無償化など、政治家が頑張らなければいけない大事な課題だ▼それを孫の何気ないつぶやきが教えてくれた。

平和を守るたたかいに全力 オール沖縄の議席必ず

来る総選挙でのオール沖縄1区代表、あかみね政賢衆院議員の必勝、来年の県議選



田村副委員長を迎える演説会

勝利に向け、田村智子副委員長を迎えた日本共産党街頭演説会が15日、那覇市で開かれ、冒頭、来年の県議選予定候補7名が紹介されました。

田村議員は自民党が低賃金・非正規雇用を拡大してきたことを批判し、日本共産党の「経済再生プラン」を紹介。基地建設や大軍拡に巨額の予算をつぎ込むのではなく、くらしや教育にお金を回し、くらしに希望の持てる社会を実現させようと訴えまし

た。また、あかみね議員について、「沖縄の歴史の証人。戦争国家づくり、辺野古に新基地を押し付ける強権政治を生きた言葉で厳しく追及する。歴代総理大臣がその発言の重さを受け止めざるを得ない」と紹介。1区から4区までオール沖縄を必ず勝利させようと訴えました。

あかみね議員は「多くの県民が『辺野古新基地を許さない』『二度と沖縄を戦場にさせない』と自発的に立ち上がっている。沖縄の平和を守るたたかいに全力をあげる」と訴えました。

た。また、あかみね議員について、「沖縄の歴史の証人。戦争国家づくり、辺野古に新基地を押し付ける強権政治を生きた言葉で厳しく追及する。歴代総理大臣がその発言の重さを受け止めざるを得ない」と紹介。1区から4区までオール沖縄を必ず勝利させようと訴えました。

この間の活動

- 若年妊産婦を支援するまりやハウス風のいえの閉所式に参加(9月21日)
- しまぶく恵祐県議県政報告会で国政報告(同23日)
- 沖縄を再び戦場にさせない県民の会キックオフ集会で挨拶(同24日)
- とぐち修県議、西中間久枝那覇市議と儀保駅で朝宣伝(同25日)
- 陸自勝連分屯地へのミサイル配備断念を求める市民大集会に参加(同27日)
- 党国会議員団で沖縄基地問題調査(同28日、29日)



- 県労連総会で挨拶(同30日)
- 全国革新懇の沖縄と連帯する集いで国政報告(10月2日)
- 日米共同訓練レゾリュートドラゴン23の中止を求め沖縄防衛局に要請(同4日)
- 行政法学者最高裁判決記者会見に参加(同5日)
- 我如古一郎那覇市議と一日橋交差点で朝宣伝(同10日)
- 戦争準備の日米合同訓練反対市民集会に参加(同12日)



- 遺骨土砂採取計画断念を求める県民集会に参加(同21日)

あかみね政賢

市議・国会議員35年の実績・足跡(6)

貸し金業の改正、世論と運動の力で実現

「教育基本法」の改悪、「防衛省昇格・自衛隊法改悪法」など臨時国会は憲法を蹂躪する法律が数の力で強行されました。多重債務問題の解決をめざしてとりくんだ貸し金業の改正も世論と運動の力で実現しました。看護師増強問題、障害者自立支援法の見直し、水俣病被害者救援、諫早干拓問題などの課題を質問主意書で政府の姿勢を正しました。安保委員会できりかえし名護市辺野古への新基地問題をとり上げました。「住宅地上空の訓練はない」という政府の説明も破綻しました。(『アカミネセイケン国会だより』2007年1月号)



各党代表とのシンポジウム(久留米市にて)

りがふきだしていません。沖縄県議選では廃止を求める日本共産党の訴えに共感がよせられ、3議席から5議席に躍進しました。廃止法案の成立をめざして、集会、シンポジウム、署名活動と九州・沖縄を駆けめぐっています。

憲法九条を生かした平和外交への転換を!

スーダンとゴラン高原のPKO、クウェートでの自衛隊の輸送活動などの調査を行いました。海外でも「軍事力では紛争は解決できない」と訴えられ、憲法九条の精神を生かした平和外交の大切さを改めて確信しました。(『アカミネセイケン国会だより』2008年8月号)

弱い者いじめの政治に悲鳴、日本共産党へ広がる期待

お年寄りを差別する後期高齢者医療制度に国民の怒